

第 94 回大阪透析研究会

【 演題募集要項 】

2021 年 3 月 7 日（日）

大阪国際会議場

開 催 要 項

- 1 会議名称 : 第94回大阪透析研究会
- 2 開催日時 : 2021年3月7日(日)午前9時開会(予定)
- 3 会 場 : 大阪国際会議場
〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号
- 4 主要プログラム
 - 特別講演
演 者 : 土谷 健 先生(東京女子医科大学 血液浄化療法科 教授)
 - 特別企画: COVID-19 シンポジウム
 - サイコネフロロジー・カンファレンス
 - 大会企画セミナー
 - 教育企画委員会セミナー
 - 大阪府臨床工学技士会セミナー
 - シヤントセミナー
 - 看護セミナー(共催:大阪DLNの会)
 - 共催セミナー(ランチョンセミナー/企業共催セミナー/スイーツセミナー)
- 5 当番会長
坂口 美佳(近畿大学医学部 腎臓内科)
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2
- 6 研究会開催に関するお問い合わせ
第94回大阪透析研究会運営事務局
日本コンベンションサービス株式会社 関西支社内
E-mail : osdt@convention.co.jp

一般演題募集要項

2020年3月に開催を予定しておりました第94回大阪透析研究会へ応募されていた演題は、誌面発表ではなく、未発表扱いになっておりますので、同じ演題をご登録いただけます。

1 応募期間

2020年12月1日（火）～2021年1月7日（木）

2 演題登録方法

- ① 大阪透析研究会ホームページ（<https://osdt.jp/>）にアクセスし、「大阪透析研究会ご案内・演題申込」をクリックしてください。
- ② タイトル／演者／所属／キーワード区分／抄録 は必須項目です。
- ③ コメディカル研究助成を受けた研究の発表については、「コメディカル研究助成演題である」を選択の上、登録してください。
- ④ 登録画面に E-mail アドレスを入力する欄があり、入力された方にはメールで登録完了の旨が返信されます。E-mail アドレスは必須項目ではありませんが、未入力の方へは登録完了の返信はされません。
- ⑤ 本大会から大阪透析研究会会長賞を設けました。応募希望の場合は、「講演形態」の「大阪透析研究会会長賞演題」を選択ください。なお、演題審査の都合上、デジタルポスター発表の形式になります。最優秀演題は「大阪透析研究会会長賞」として、第95回大阪透析研究会で表彰いたします。発表内容を大阪透析研究会会誌に掲載することは義務化いたしません。若手先生（40歳未満の先生）の発表を推奨いたします。

3 発表形式

下記の3区分からご希望ください。

- ① 一般演題 口演発表
- ② 一般演題 デジタルポスター発表
- ③ 会長賞演題 デジタルポスター発表

※「②一般演題 デジタルポスター発表」を希望される場合は、
下記記載例のように、演題名の前に必ず「【DP 希望】」と明記してください。
UMIN 上ではデジタルポスターの選択項目はございませんのでご注意ください。

例)

演題名

【DP 希望】 ○○○○○○

※プログラム構成の都合上、発表形式の変更をお願いする場合があります。

最終的な発表形式についても主催者にご一任ください。

※新型コロナウイルスの影響により、開催形式及び演題の発表形式を変更する場合がございます。

予めご了承ください。

4 演題登録 (UMIN) システムに関するお問い合わせ

大阪透析研究会本部事務局

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学教室内

TEL : 06-6645-3858 FAX : 06-6647-4426

5 大阪透析研究会からの演題登録に際しての注意事項

★ 詳細は4-8ページ、または研究会ホームページをご参照ください。

抄録記載時のお願いとご注意

大阪透析研究会演題応募時の抄録記載にあたって、下記に列挙した点について十分ご留意くださるよう、お願いいたします。

なお、個人情報保護に問題があると判断された場合は、当番会長より修正あるいは発表差し控えを指示されることがありますのでご了承ください。

1. 抄録内容は発表者と発表施設の責任であって、大阪透析研究会は発表内容の責任を負わないこと。
2. 症例報告などでは、患者個人情報の保護に配慮すること。具体的には、別紙「症例報告における患者情報保護に関する指針」を参照すること。
3. 利益相反 conflict of interest: COIに留意すること。

論文発表時（著者全員）及び学術集会（筆頭発表者のみ）の演題登録時に、別に定める様式（研究会 HP に掲載：<http://plaza.umin.ac.jp/odm/>）により、学会事務局に届け出ること。

【提出先】

大阪透析研究会事務局

E-mail：odm-oas@umin.ac.jp

また学術集会の筆頭発表者は該当する COI 状態について、発表スライドの最初（または演題・発表者などを紹介するスライドの次）に様式 1-A、1-B により、開示すること。

【スライド例】
学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がない場合

大阪透析研究会
COI 開示
筆頭発表者名: OO OO

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

様式 1-A

【スライド例】
学術講演会口頭発表時、申告すべきCOI状態がある場合

大阪透析研究会
COI 開示
筆頭発表者名: OO OO

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

①顧問:	なし
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原簿料:	なし
⑥受託研究・共同研究費:	〇〇製薬
⑦奨学金付金:	〇〇製薬
⑧寄附金受領書:	あり(〇〇製薬)
⑨贈答品などの報酬:	なし

様式 1-B

4. 体裁統一のため、次ページ以降の「大阪透析研究会抄録の記載要項」を参考にして記載すること。

大阪透析研究会抄録の記載要項

大阪透析研究会

1. 本文の書き方

「研究報告」では、目的、対象と方法、結果、結論などと項目建てをして記載する。「目的」などの項目名は、改行して1字空けずに【目的】などと括弧を使うか、あるいは、改行して1字空け、項目の後に「:(コロン)」を入れて記載する。

「症例報告」では、最初に「症例。〇〇歳男(女)性。」と書き、その後、主訴、病歴、考案、結論などを記載する。「方法」などの項目を建てるときは、改行して1字空けずに【方法】などと括弧を使うか、あるいは、改行して1字空け、項目の後に「:(コロン)」を入れて記載する。

2. 記載例

・ 例1 (研究報告)

透析膜・・・・・・・・・・の影響

吉田 充¹、富永真弓²、岡 始³、・・・・・・・・

大阪透析病院泌尿器科¹、同 外科²、日本診療所看護部³、・・・・

【目的】透析膜が・・・・・・・・・・する影響を解明することを目的とした。

【対象と方法】安定した維持透析患者 25 例（男性 10 例、女性 15 例）と健常成人 35 名を対象として、・・・・・・・・。血液中の・・・・は・・・・を用いて測定し、・・・・・・・・

【結果】今回の透析膜は・・・・・・・・・・しかし、これらの・・・・・・・・

【結論】・・・・・・・・

・ 例2 (症例報告)

腎・・・・を合併し、・・・・した透析患者の1例

吉田 充¹、富永真弓²、岡 始³、・・・・・・・・

大阪透析病院泌尿器科¹、同 外科²、日本診療所看護部³、・・・・

症例。58 歳男性。・・・・を目的として来院、入院した。既往歴に虫垂切除術（35 歳）がある。・・・・・・・・

その後、・・・・・・・・・・軽快した。

考案：本症例は・・・・・・・・。一方、・・・・との合併例は・・・・・・・・

結論：・・・・・・・・

3. 用語

用語は、原則として、当用漢字と現代仮名使いを使用し、以下のものは下記のように統一する。

1. 送り仮名

(1) 行(な)う → 行う

2. ひらがなを使用

- | | |
|-------------------|------------------------|
| (1) 尚 → なお | (2) ～にも拘わらず → ～にもかかわらず |
| (3) 我が国 → わが国 | (4) 我々 → われわれ |
| (5) 又 → また | (6) 私達 → 私たち |
| (7) 更に → さらに | (8) 1年毎の → 1年ごとの |
| (9) 及び → および | (10) 如く → ごとく |
| (11) 益々 → ますます | (12) ～が見られない → ～がみられない |
| (13) 占める → しめる | (14) 出来る様に → できるように |
| (15) ～と共に → ～とともに | (16) それ故 → それゆえ |
| (17) ～等 → ～など | |

3. 漢字を使用

- | | |
|---------------------|------------------|
| (1) とくに → 特に | (2) したがって → 従って |
| (3) はじめての～ → 初めての～ | (4) はじめから → 始めから |
| (5) ～がえられる → ～が得られる | |

4. 読点を挿入

しかし、 また、 従って、 特に、 一方、

5. その他

(1) 年令 → 年齢 ～才 → ～歳

(2) から、より、よって、の使用：

場所や時間は「から」を用いる。「より」の使用は比較の場合のみとする。

理由や手段は「～によって」と記載する。

症例報告等における患者個人情報保護に関する指針

大阪透析研究会

症例報告は、個別の症例における貴重な情報や経験を共有することにより、医療の向上、医学・医療・福祉の全体の進歩に貢献する重要なものである。しかし、患者の個人情報（プライバシー）の保護は、医療者に課せられた義務であり、症例報告等に際しては、個人の特定ができないようにする配慮が必要である。

以下の各項目に記述された事項は、疾病の提示・理解に必要不可欠である場合を除いて、可能な限り遵守されるべきである。

1. 患者の氏名、イニシャル、診療番号、ニックネーム等は記述しない。
2. 患者の人種、国籍、出身地、現住所、職業歴、既往歴、家族歴、宗教歴、生活習慣・嗜好は、報告対象疾患との関連性が薄い場合には、記述しない。
3. 日付は、第一病日、3年後、10日前という記述方法にするか、あるいは、患者の臨床経過、病態把握に必要な場合には個人を特定できない形で、年月までの記載とする。
4. 診療科名は記載してよいが、他の情報との照合によって個人が特定される可能性が高くなる場合などは大まかな記述法（例えば、呼吸器内科の代わりに内科）とする。
5. 既に診断・治療を受けている場合、他院名やその所在地は記述しない（例えば、「前医」「某大学病院」などと記載する）。
6. 顔面写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合は、眼球部のみの拡大写真とする。
7. 症例を特定できる検体、画像情報の中に含まれる番号などは削除する。

発表に関するお願い

<PC 発表>

- 一般演題：発表 6 分、質疑 2 分、計 8 分の予定です。
 - スライド枚数制限はありませんが、時間厳守でお願いいたします。
1. データファイル受付
 - USB メモリーにて受付いたします。その他のリムーバブルメディアは受付できませんのでご了承ください。
 - Macintosh の使用をご希望の方は、3. その他をご参照ください。
 - ファイルは各自、受付にて必ず試写のうえご確認ください。
 2. ファイル形式
 - PC は以下の環境をご用意しております。
 - OS Windows
 - PowerPoint2010、2013、2019
 - 文字化けなどを防ぐため、フォントは以下をお使いください。
 - 日本語：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
 - 欧文：Century、Century Gothic、Times New Roman、Arial、Symbol
 - ファイル名は「演題番号_発表者。」(例 A-18_山田太郎。)としてください。
 3. その他
 - 下記の場合については、各自のノートパソコンをお持ちこみください。各ノートパソコン専用のアダプター、VGA 変換アダプターを別途ご用意ください。その他、お持ちいただいたパソコンについて、会場では技術的な質問にはお答えいたしかねます。
 - Macintosh を用いた発表を希望される場合／動画再生を希望される場合／指定フォント以外を使用される場合

<デジタルポスター発表>

デジタルポスターシステムを利用した WEB 上での発表といたします。

1. 発表データは、通常のポスター発表のように大判サイズで作成せず、オーラル発表のようにスライド毎に作成してください。
2. 登録できるスライド枚数は、タイトルスライド、COI 開示スライドを含め 12 枚以内です。
3. スライドのサイズは 4 : 3 で作成してください。

専用の登録サイトにてスライドの事前登録をいたします。詳細につきましてはデジタルポスター希望対象者へ、運営事務局より改めてご案内いたします。